

# 谷田部南小学校の 今後の方針に関する説明会

令和6年11月10日（日） 谷田部南小学校

つくば市教育局



## 説明会次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 職員紹介

4. 説明事項

(1) 今後の児童数見込みについて

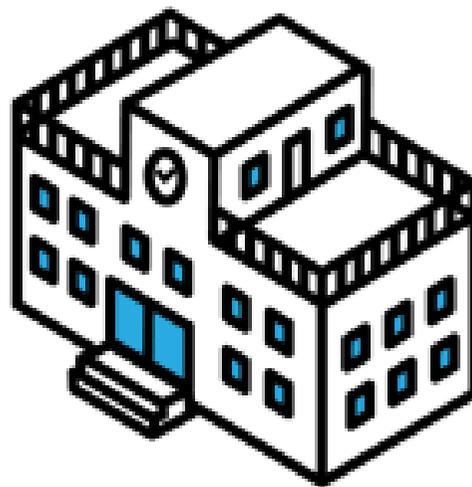
(2) 小規模校化・複式学級への対応について

(3) 小規模特認校制度について

5. 質疑応答

6. 閉会

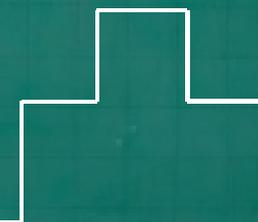
# 谷田部南小学校の 今後の方針に関する説明会



つくば市教育局



# 谷田部南小学校の 今後の児童数見込みについて



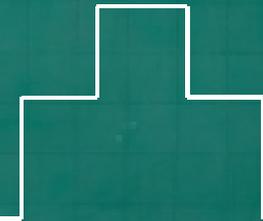
# ■谷田部南小学校 児童数・学級数推計

緑色の部分は複式学級となる（連続した学年で16人以内（1年生を含む場合は8人以内）で複式学級）

学年	令和6年度 (5月1日現在)		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	7	1	7	1	6	1	12	1	7	1	6	1
2年	6	1	7	1	7	1	6	1	12	1	7	1
3年	14	1	6	1	7	1	7	1	6	1	12	1
4年	9	1	14	1	6	1	7	1	7	1	6	1
5年	13	1	9	1	14	1	6	1	7	1	7	1
6年	7	1	13	1	9	1	14	1	6	1	7	1
合計	56	6	56	5	49	5	52	4	45	4	45	5

令和6年5月1日時点学校名簿及び令和6年4月10日時点住民基本台帳人口から児童数は通常学級と特別支援学級を合わせた数で、学級数は通常学級のみ

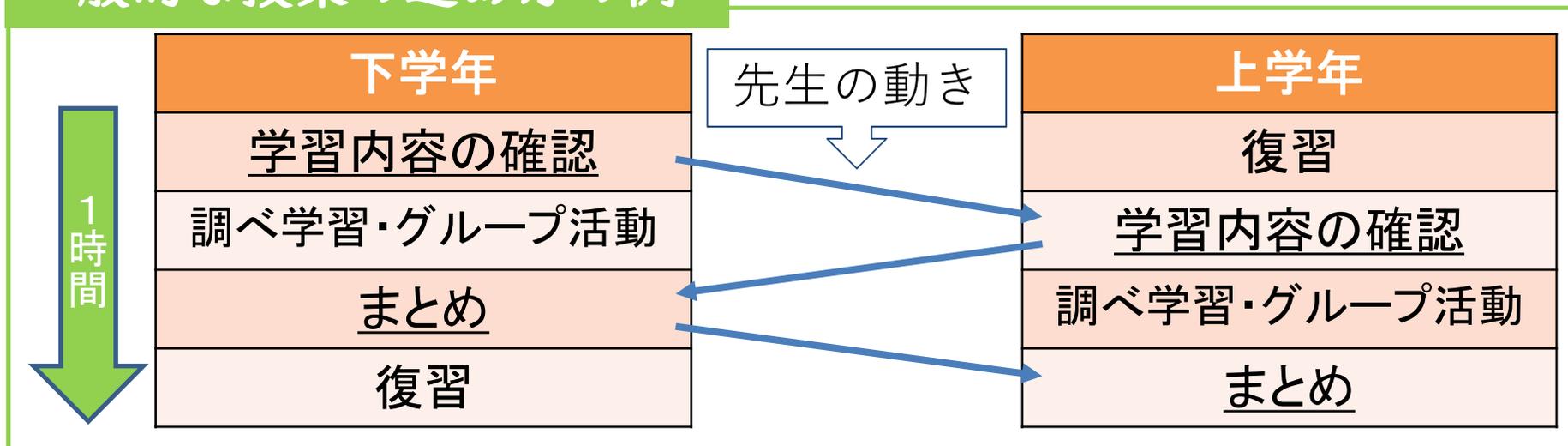
# 小規模校化・複式学級への 対応について



# 複式学級について

- 連続した学年で16人以内(1年生を含む場合は8人以内)の場合、2つの学年を1学級とする複式学級となります。
- 一般的に、複式学級では直接指導(教師が子供たちと直接関わりながら進めるもの)と、間接指導(学習の進め方を事前に理解させ、子供たちだけで学習を進めさせるもの)を組み合わせ、複数学年を教員が行き来しながら指導する方法が多く取られます。
- その他、教科や科目内容によっては、異学年で同じことに取り組む授業も行われます。

## 一般的な授業の進め方の例



# つくば市教育大綱

最上位の目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」

- ① 「教え」から「学び」へ
- ② 「管理」から「自己決定」へ
- ③ 「認知能力偏重」から  
「非認知能力の再認識」へ

自律した学習者を育てる



谷田部南小学校は  
教育大綱の理念を実現する好事例

# 谷田部南小学校の現在の取組

## 小規模校における特色ある教育の実践

### ～多様な他者との交流を通じた児童の非認知能力の醸成～

○異学年交流、異学年学習（協働で探究する）

○サークル対話

（互いのよさを知り、新たな気づきを得る）

○外部人材の活用

（保護者、地域、専門家から学ぶ）

R5～R9県指定  
特色ある教育活動  
パイロット研究推進校

特色ある取組を  
県内に発信

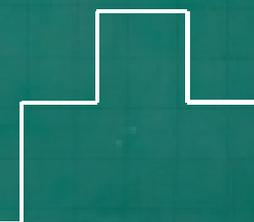
・コミュニケーション力、協働力、表現力の向上

・自律的な学習者の育成

・児童による自治的な学校の実現

小規模集団の強みを生かした教育活動が可能な環境

# 小規模特認校制度について

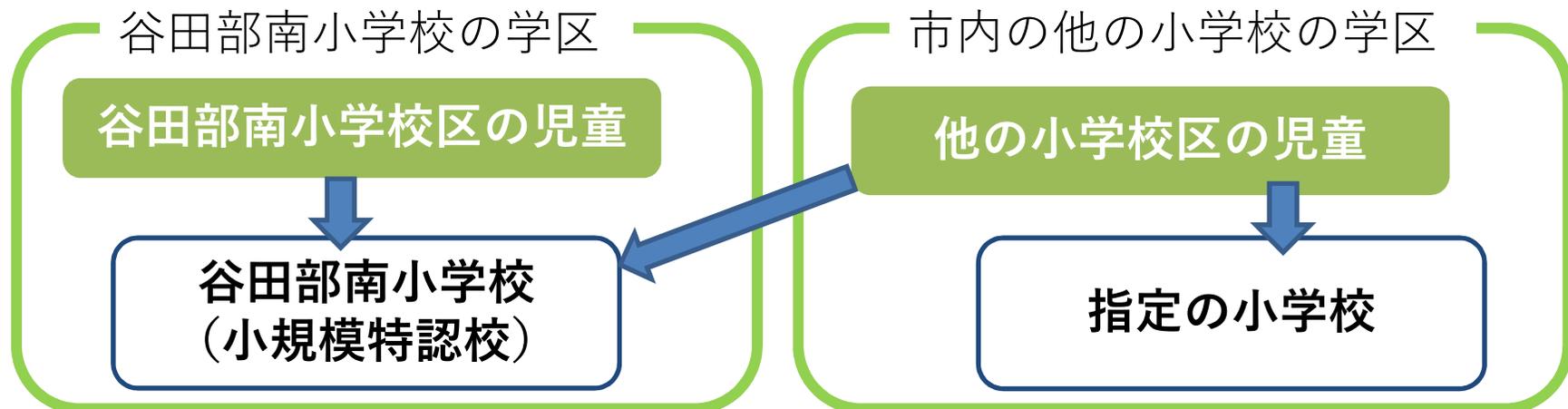


# 小規模特認校制度の導入

- 従来の通学区域は残したままで、特定の小規模の学校において、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認める制度



- 谷田部南小学校で実施する特色ある教育活動へ関心のある方について、令和8年度以降、学区外からも広く児童を受け入れていく



# 小規模特認校導入スケジュール案

令和8年度から、谷田部南小学校と栗原小学校の2校で小規模特認校を導入する予定です。

年度	実施事項
令和6年度	小規模特認校実施に係る制度設計 (カリキュラム・就学手続き方法等の検討)
令和7年度	4～5月 市内各学校・保護者への周知・説明 7月～ 広報誌・HPなどでの周知 市内保育園・幼稚園への周知 11月末～ 令和8年度就学手続き開始
令和8年度	4月 小規模特認校制度の開始

# 県内の小規模特認校の例

---

県内でも、水戸市、牛久市、阿見町などで小規模特認校制度が導入されており、一定数の児童が学区外から就学しています。

- **水戸市立上大野小学校**

全校児童 77人　うち学区外から23人就学

- **牛久市立おくの義務教育学校**

全校児童生徒 290人　うち学区外から95人就学

(前期課程は187人　うち学区外から70人)

- **阿見町市君原小学校**

全校児童 65人　うち学区外から19人就学

# 谷田部南小学校の現在の取組

## 小規模校における特色ある教育の実践

### 児童生徒アンケート(i-check)の結果より 数値が高い項目

#### 学級の絆

助け合う雰囲気  
よいところを  
伝え合う。  
クラスがすき。

#### 友達のささえ

気持ちを分  
かってくれる。  
声をかけてく  
れる。

#### 協働

友達の意見か  
ら新しいこと  
に気付く。自  
分の考えが深  
まる。

#### 発信力

相手に質問し  
て確かめる。  
自分で考えて  
発言する。

#### 対話・話し合い

グループで話  
し合う授業が  
楽しい。

#### 教師のささえ

先生はクラス  
のみんなのこ  
とをほめてく  
れる。

#### 感動体験

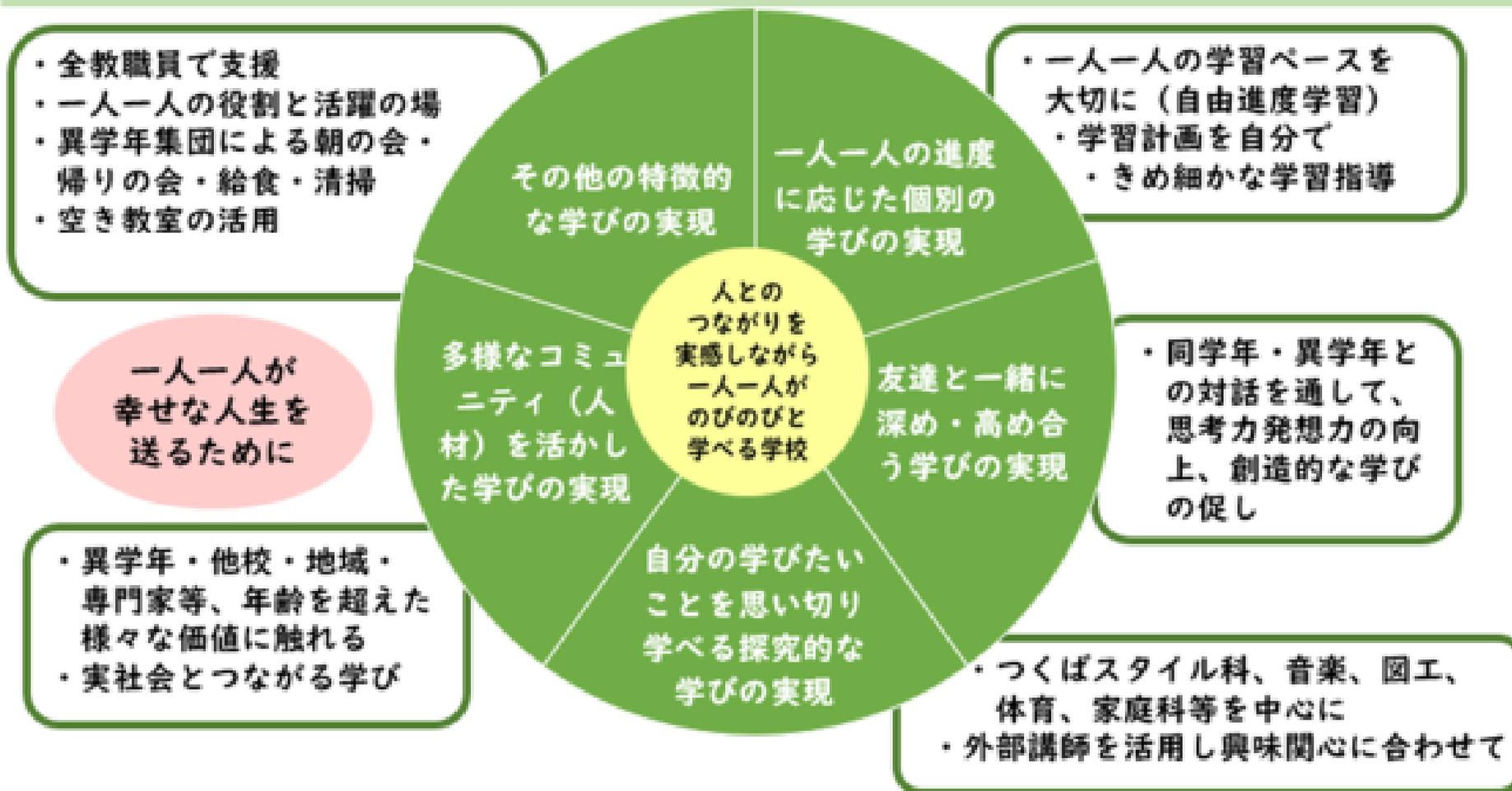
行事や活動で  
心に残ってい  
ることがある。  
  
夢中になった  
授業がある。

小規模集団の強みを生かした教育活動が可能な環境

# 谷田部南小学校の今後に関する市の方針

## イエナプランの理念を取り入れた魅力的な教育

### 学校の魅力 5つのプロジェクト



# 谷田部南小学校の今後に関する市の方針

## 【一週間のイメージ】

	月	火	水	木	金	
朝の会	異学年同士による活動					気持ち良くスタートできる温かい雰囲気づくり
1 時間目	<b>【主要教科等（国・算・社・理・英）の学習】</b> ・一人一人の進度に応じた個別の学び ・友達と一緒に学ぶ協働する学び					固定化しがちな人間関係の解消
2 時間目						
3 時間目						
4 時間目						
給食 清掃	異学年同士による活動					例：地域の飲食店とコラボし、新商品を共同開発
5 時間目	<b>【つくスタ・音・図・体・家 等の学習】</b> ・学びたいことを、おもいきり学べる探究的な学び ・多様なコミュニティ（人材）を生かした学び					例：地域の方との野菜作り体験を通して給食の新メニューを考案し提案
6 時間目						
帰りの会	異学年同士による活動					

きめ細かな学習指導

同学年・異学年の友達と一緒に学ぶ様々な形態

ランチルームでの合同給食、縦割班での清掃活動

様々な外部の専門家を招き、社会とつながりながら学ぶ

説明会資料および質疑応答の内容については、市ホームページに近日中に掲載します。

本日の説明内容に関するご質問・ご意見については、いばらき電子申請サービスからお問い合わせいただけます。

回答については個別の回答ではなく、市ホームページ上での公表をもって回答とさせていただきます。

問合せフォームURL（いばらき電子申請サービス）

[https://apply.e-tumo.jp/city-tsukuba-ibaraki-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=64298](https://apply.e-tumo.jp/city-tsukuba-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=64298)



ご清聴ありがとうございました



つくば市教育局